

事業概要

一般国道407号は、栃木県足利市を起点に、群馬県太田市を通り、埼玉県入間市に至る、延長60.7kmの広域幹線道路です。
 飯能県土整備事務所では、交通渋滞の緩和し、地域の活性化を支援するため、日高市・鶴ヶ島市内において、延長2.8km、4車線によるバイパスの道路整備を進めてきました。
 このうち令和3年には延長2.2kmが供用され、このたび残りの0.6kmが完成し、開通することができました。

概要

- ◆事業延長 2.8 km
- ◆幅員 25.0 m
- ◆事業期間 平成21年～令和6年
- ◆総事業費 約69億円

横断図



◎ 着工前 ~before~



◎ 完成後 ~after~



事業の経過

平成21年 3月	調査着手：道路設計や用地測量などに着手
平成23年 9月	用地取得：事業にご理解を得ながら、用地交渉を開始
平成26年12月	工事着手：日高市森戸新田地先から着工
令和 3年 3月	高萩北杉並木交差点より、0.9km区間が開通
令和 3年 9月	開通済みの区間に続き、1.3km区間が開通（計2.2km）
令和 5年 3月	道路計画道路 市道1015号線が供用。4車線化
令和 6年 3月	0.6km区間が開通し、全線開通（計2.8km）

期待される効果



① 移動時間の短縮

「高倉天神交差点」から「高萩北杉並木交差点」までの間の移動時間が短縮されます。



② 交通渋滞の緩和

周辺の慢性的な渋滞が解消されます。



埼玉県マスコット コバトン

③ 圏央道へのアクセス向上

フルインター化された圏央鶴ヶ島ICへのアクセスが向上し、地域の活性化につながります。

④ 緊急輸送道路の強靱化

災害発生時、救命活動や物資輸送に使われる道路として、「緊急輸送道路」が指定されています。緊急輸送道路網が強靱化されることで、迅速な応急対応や早期の災害復旧に役立ちます。